SONY

Cyber-shot

サイバーショット取扱説明書

はじめにお読みください

DSC-W50

本書と**別冊の「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」**をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

「活用編・困ったときは」の3ページと105ページから107ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。ご使用の前によくお読みください。

2-886-440-**01** (1)

1 バッテリーを準備する

❶ バッテリーを入れる。
カチッと音がするまで軽く押す。

❷ 電源プラグを引き起こし、コンセントへ

CHARGEランプ
点灯:充電中
消灯:充電終了(**実用充電**)
そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます(**満充電**)。

- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25℃での満充電時間は約330分、実用充電時間は約270分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

❸ 充電したバッテリーを入れる。

バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバーを開ける。

バッテリーの端で**取りはずしつまみ**を押しながら入れる。

閉じる。

2 電源を入れ、時計を合わせる

❶ モードダイヤルを「📷」にする。

❷ POWERボタンを押す。

❸ コントロールボタンで、時計を合わせる。

1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。

2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。

- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 "メモリースティック デュオ"(別売)を入れる

「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

"メモリースティック デュオ"が挿入されていないときは

本機の内蔵メモリー(32MB)に画像を記録/再生します。→*別冊「活用編・困ったときは」23ページ*

4 用途に合わせて画像サイズを決める

❶ モードを選ぶ。

静止画のとき

「📷」にする。

動画のとき

「🎞」にする。

❷ ▦/🗑(画像サイズ)ボタンを押す。

❸ 画像サイズを選ぶ。
▲/▼で画像サイズを選ぶ。

- 静止画のときの画面です。
- 動画のときは[640(ファイン)]("メモリースティック PRO デュオ"のみ)、[640(スタンダード)]、[160]から選びます。

❹ ▦/🗑(画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

2886440010

付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CSG/BC-CSGB(1)

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BG1(1)/バッテリーケース(1)

- マルチ端子専用USB・A/Vケーブル(1)

- ネックストラップ(1)

- サイバーショットアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは(1)
- 保証書(1)

"メモリースティック デュオ"は付属しておりません。
本機には32MBの内蔵メモリーを搭載しておりますが、より多くの撮影のためには"メモリースティック デュオ"の購入をおすすめいたします。

"メモリースティック デュオ":本機で使用可能です。

"メモリースティック":本機で使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

- "メモリースティック デュオ"について詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」95ページ*

ご注意

- はじめてお使いになるときは、バッテリー(付属)を充電してください。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、ネックストラップを取り付けてお使いください。
- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。

■ サイバーショット オフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター

●ナビダイヤル………… 0570-00-0066
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
●携帯電話・PHSでのご利用は… 0466-38-0253
(ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください。)
受付時間: 月~金曜日:午前9時~午後8時
土、日曜日、祝日:午前9時~午後5時

コンセントの電源で本機を使うときは

ACアダプター AC-LS5K(別売)を使うと、コンセントにつないで使うことができます。→*別冊「活用編・困ったときは」15ページ*

バッテリーの残量を確認するときは

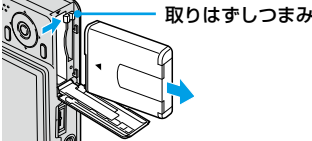
POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

残量表示	(満)	(2/3)	(1/3)	(空) / (点滅)
バッテリー残量の目安	充分ある	少なくなった	撮影、再生がもうすぐできなくなる	充電済みのバッテリーと交換するか、充電する(警告表示が点滅)

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

取りはずしつまみをずらし、バッテリーが落下しないように注意しながら引き出す。

取りはずしつまみ

海外で使うときは

バッテリーチャージャーやACアダプター AC-LS5K(別売)は全世界(AC100V~240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねのうえ、ご用意ください。

コンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

- **電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。**

時計合わせをやり直すときは

🧰(セットアップ)画面で[時計設定]を選び、手順❸を行う。
→*別冊「活用編・困ったときは」43、53ページ*

時刻表示について

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。
- 手順❸-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。

電源を入れたときのご注意

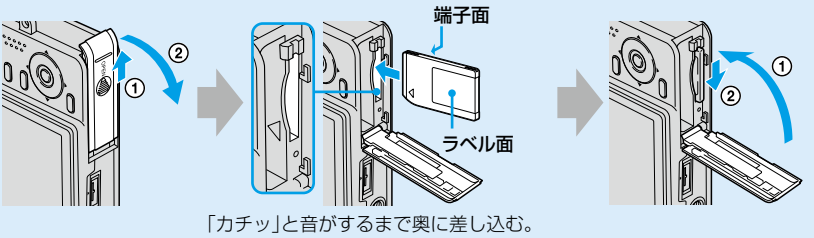
- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- カバーが開きレンズ部が動くので、レンズ部に触れないでください。また、電源を切った状態でレンズが出たまま長時間放置しないでください。故障の原因になります。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。

電源を切るときは

POWERボタンを再び押す。

- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため に自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

表示言語について

本機のメニュー項目や警告などの表示は、日本語のみに対応しております。

静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」12ページ*
お買い上げ時の設定は✓で示しています。

	画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓	6M	A4サイズまでのプリント	少ない	精細
	3:2[1]	縦横比3:2での撮影	↕	↕
	3M	2L判サイズまでのプリント		
	2M	L判サイズまでのプリント		
	VGA	Eメールでの送付など	多い	粗い
	16:9[2]	ハイビジョンTVでの鑑賞[3]		

1) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の縦横比で撮影します。
2) プリント時に両端が切れることがあります。 →*別冊「活用編・困ったときは」89ページ*
3) メモリースティックスロットやUSB経由で接続すると、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」21ページ*

- 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

"メモリースティック デュオ"を取り出すときは

バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバーを開け、"メモリースティック デュオ"を1回押す。

アクセスランプ点灯中は

絶対にバッテリーや"メモリースティック デュオ"を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

裏面へつづく

5 簡単に撮る（オート撮影）

被写体をフレーム中央部におさめる。

❶ モードを選ぶ。

静止画（オート撮影）のとき

「📷」にする。

動画のとき

「🎞」にする。

❷ シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき

半押しして ピント合わせ

AE/AFロック表示 点滅 → 点灯

ピピッ

深く押し込む

カシャ

AF測距枠

動画のとき

深く押し込む

録画を止めるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込む。

コントロールボタンの機能を使うには

静止画のフラッシュモードを選ぶ

写真の明るさ（EV）を変える（露出補正）

被写体に近接して撮る（マクロ撮影）

セルフタイマーで撮る

ズームするには

ズームレバー

- レンズの倍率（3倍）を超えるとデジタルズームになります。［デジタルズーム］の種類と画質について→*別冊「活用編・困ったときは」44ページ*
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

場面に合わせて静止画を撮る（シーンセレクション）

❶ シーンセレクションの ISO/☽/☽👤/⛄/🏖/🏔/👥 のいずれかを選ぶ。

- 撮影モードについては、下をご覧ください。

❷ 撮影する。

機能ガイドについて

機能の説明が表示され、数秒後に自動的に消えます。
機能ガイドをすぐに消したいときは、シャッターボタンを半押しする。
🧰（セットアップ）画面で、機能ガイドを表示させないようにすることもできます。
→別冊「活用編・困ったときは」45ページ

シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルをシーンセレクション以外のモードに合わせる。

6 画像を見る／削除する

❶ ▶（再生）ボタンを押す。

- 電源が入っていない状態でも▶（再生）ボタンを押すと、電源が入り再生モードになります。

撮影モードに戻るには

- もう一度▶（再生）ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押しする。
- モードダイヤルを切り換える。

❷ ◀（前）/▶（次）で画像を選ぶ。

静止画の場合：画像サイズを表示
動画の場合：🎞 を表示

🎞 動画を再生するには

●を押す。

再生バー

早送り／巻き戻し：◀/▶
（通常再生に戻るには●）
音量調整：▲/▼
再生中止：●

- 画像サイズ［160］で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

画像を削除するには

1 削除したい画像を表示して⊞/🗑（削除）ボタンを押す。
2 ▲で［削除］を選び、●を押す。

削除を中止するには
［終了］を選び、●を押す。

☑ 写真の明るさを変える（露出補正）

手順❷の前に、コントロールボタンの◀（☑）を押す。
▲（明るくなる）/▼（暗くなる）で調節する。
表示されたバーを消すには、もう一度◀を押す。

－方向　＋方向

- 1/3EV単位で、明るさ（露出値）を設定できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。
- 露出について、詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」11ページ*

⚡ 静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順❷の前に、コントロールボタンの▲（⚡）を押す。押すごとに、設定が変わる。

表示なし　フラッシュオート
光量不足または逆光と判別したとき発光（お買い上げ時の設定）

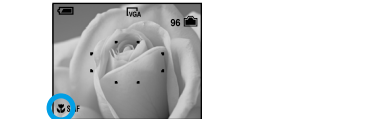
⚡　フラッシュ強制発光

⚡SL　スローシンクロ（強制発光）
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

🚫　フラッシュ発光禁止

- フラッシュ撮影範囲（［ISO］が［オート］のとき）
  W側：約0.2～4.2m
  T側：約0.3～2.2m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

🌷 被写体に近接して撮る（マクロ撮影）

手順❷の前に、コントロールボタンの▶（🌷）を押す。
やめるには、もう一度▶を押す。

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

レンズ先端からの撮影可能距離
W側いっぱいのとき：約2cm
T側いっぱいのとき：約30cm

⏲ セルフタイマーで撮る

手順❷の前に、コントロールボタンの▼（⏲）を押すごとに、設定が変わる。

表示なし　セルフタイマー解除

⏲10　セルフタイマーを10秒後に設定

⏲2　セルフタイマーを2秒後に設定

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。
やめるには、もう一度▼を押す。

- セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、手ぶれが起こりにくくなります。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は50cmです。それよりも近くで撮影するときは、「マクロ撮影」（左記）する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体：

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や光沢物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

液晶画面を消すには

▭（画面表示切り換え）ボタンを繰り返し押す。バッテリーの消耗を抑えたり、液晶画面で画像を確認しづらいときはファインダー（上図）を使ってください。

画面を明るくするには

バッテリー使用時に屋外などの明るい場所で画面が見えにくいときは、液晶画面のバックライトを明るくすると、便利です。ただし、バッテリーの消耗は早くなります。
▭（画面表示切り換え）ボタン（上図）を長押しすると、バックライトが明るくなります。
もう一度長押しすると、もとに戻ります。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

ISO 高感度モード
ブレを軽減しつつフラッシュを使わずに自然な雰囲気で撮影

🏖 ビーチモード
海や湖畔など水の青さを鮮やかに撮影

🏔 風景モード
遠景にピントを合わせ風景などを撮影

☽ 夜景モード*
フラッシュを使わずに暗いシーンを撮影

👥 ソフトスナップモード
人物や花などを優しく柔らかな雰囲気で撮影

☽👤 夜景＆人物モード*
フラッシュを使い人物と背景を撮影

⛄ スノーモード
白い風景を明るく撮影

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

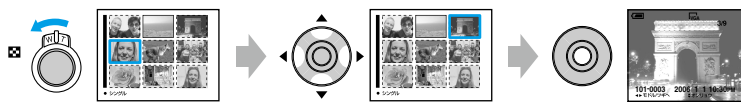
手順❷で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。
使えない機能のボタンを押すと、ピピピと音が鳴ります→*別冊「活用編・困ったときは」26ページ。*

拡大して見るときは（再生ズーム）

静止画を再生中に 🔍 レバーをずらすと、ズームできる。🔍レバーで戻る。
ズーム位置変更：▲/▼/◀/▶
ズーム中止：●

- 拡大した画像を保存するには：［トリミング］→*別冊「活用編・困ったときは」42ページ*

一覧（インデックス）表示で見るときは

⊞（インデックス）レバーをずらし、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。

一覧（インデックス）表示で画像を削除するときは

1 一覧表示中に ⊞/🗑（削除）ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で［選択］を選び●を押す。
2 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して 🗑（削除）マークを付ける。

削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、🗑 マークを消す。

3 ⊞/🗑（削除）ボタンを押す。
4 ▶で［実行］を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で［選択］の代わりに［フォルダ内全て］を選んで●を押してください。